

フルモデルチェンジの 新型 Jeep® Compass アイコンックな走破性と多用途性、そして先進テクノロジーを融合 メディア試乗会を開催

- 新型 Jeep® Compass が、C-SUV セグメントの新たなベンチマークを打ち立てるモデルとして誕生。これまで以上に高い走破性、快適性、そして先進技術を備える
- ヨーロッパ、日本、北アフリカ各地からのジャーナリストが、スペイン・バルセロナ開催の試乗会で、この新型 Compass の性能を体験
- ヨーロッパで設計・開発。本格的な Jeep デザインに加え、サスペンションの改良、よりスマートなドライブモード、刷新された電気系統システムの設計など、数々の技術革新を融合
- 広々とした室内空間、洗練された素材、そして高度なデジタル機能により、機能性とスタイル、ユーザビリティを完璧に両立
- パワートレインはe-HybridとBEV（74kWh/213馬力/FWD）を用意。さらに、195馬力のPHEVモデルや、最大 375ps の AWD を含む BEV モデルも順次投入予定（日本導入は e-Hybrid のみを予定）

Jeep® Compass は常に走破性の象徴として位置づけられてきました。この新モデルは、Jeep 体験を現代へと進化させ、ブランドのアイコンックデザインに新たな洗練性と先進技術を融合させたものです。新型 Compass は、卓越した機械性能と先進技術を基盤に、パワーと効率において新たな価値基準を提示します。

「新型 Compass は、Jeep ブランドが描く未来のモビリティを体現する大胆な一歩です」と、欧州 Jeep ブランド責任者の Fabio Catone は述べています。「先代モデルと比べ、性能・革新性・ドライバーの安心感において真の進化を遂げました。」

エクステリア：

外観は全長 4.55m の堂々たるプロポーションで、空力性能が最適化されました。カメラやレーダーを高い位置に配置し、オフロード走行時の損傷リスクを低減。新設計である機能的な AWD エクステリアや牽引用フックが、あらゆる路面環境下においても Jeep の冒険心をさらに強調します。（日本導入は FWD のみを予定）

新型 Compass は、ハンドリングと快適性の最適なバランスを実現するために開発された、新しいサスペンションを採用しています。これにより、地上高 200mm を確保して、悪路でも舗装路での安定性をほぼ損なうことなく走行可能です。さらに、垂直方向の加速度（上下の揺れの強さ）は 15% の低減、コーナリング時の傾きは 20% 減少し、より安定したドライビングを実現しました。

同時に、ステアリング制御のキャリブレーションも再設計され、より高い精度と滑らかな操作性を実現するとともに、多様な走行環境へ柔軟に適應する性能を備えました。これらの技術的アップデートには静粛性向上も含まれており、リアガラスを前モデル比 11% 厚くするなど、素材面での最適化によって達成されています。

これらの改良により、長距離移動から街中走行に至るまでの快適性を維持する、落ち着きと洗練性を兼ね備えた車内空間を実現しました。その結果、プレミアム SUV として求められる静粛性と俊敏性の両立を図り、卓越したドライビングバランスを提供するモデルへと進化しています。

さらに 4xe モデルは、Jeep Compass 専用に開発された新型リア e モーターを採用することで、パフォーマンスを一段と強化しました。本モーターは最大 132 kW で、ホイールベースで最大 3,100 Nm のトルクを供給することで、優れたトラクション性能を提供します。（日本導入は e-Hybrid のみを予定）

インテリア：

インテリアは、全面的に見直されて多用途性と洗練性が高まりました。室内はこれまでより広く、後席には前モデル比+20mm のゆとりあるレッグスペースを確保しています。ラゲッジ容量も最大 550 リットル（同+45 リットル）へと拡大し、積載性が向上しました。さらに、フロント収納容量は合計 34 リットルとなり、収納の利便性がより高くなりました。

使いやすさを最優先に配置を再設計した操作機能も新型 Compass の特長です。物理式のロータリーシフトノブ、電子パーキングブレーキボタン、ラバー加工の Selec-Terrain®スイッチを手の届きやすい位置にまとめています。これにより、悪路走行時でもスムーズかつ直感的に操作できます。

Selec-Terrain®ドライブモードシステム：

新型 Compass には、主要機能として Selec-Terrain®ドライブモードシステムを採用しています。本システムは、アンビエントライトの色調やグラフィックの視覚的な変化に留まらず、路面状況に応じた実質的な機械制御を行うことで、走行時のトラクション、安定性、制御性を高いレベルで確保します。これにより、多様な走行条件下においても一貫した走行性能を提供します。

ドライブモードは、Auto、Sport、Snow、Sand/Mud に加え、e-Hybrid プラグイン専用の Electric を含む全 5 種類を設定。それぞれのモードは、特定の走行環境で車両性能を最適化するように個別にチューニングされています。

全モードには、アンチロックブレーキシステム（ABS）、トラクションコントロール、エンジン制御と連動し、安定性を高めるエレクトリックスタビリティプログラム（ESP）を統合しています。そして出力配分や制動を適切に制御することで、操作性と安全性を強化しています。

- Auto モードは全パワートレインに標準採用され、ピークパワーの 90%を用いながら、快適性と効率性を両立するバランス設計です。ステアリング制御と適切に調整された変則制御を標準設定とし、レベル 2 の ADAS 機能も継続して利用できます。
- Sport モードでは、最大出力の 100%およびオーバーブーストを活用し、レスポンスを重視したステアリング、ESP、シフト設定を採用。よりダイレクトな操舵感と動的性能を提供します。
- Snow モードは、最大出力の 80%を使用し、滑りやすい路面での安定性を確保する専用キャリブレーションを設定しています。
- Sand/Mud モードは、オフロード環境での走破性向上を目的に、ピークパワー100%、オーバーブースト、専用 ESP およびシフトキャリブレーションを組合せ、グリップ性能を最大化します。

先進コネクテッドサービス：（コネクテッドサービスは欧州市場のみ）

新型 Compass は、最新世代の技術を採用し、車内およびリモート環境で利用可能な、多様な先進コネクテッドサービスを提供します。これらのサービスは、運転体験の向上とデジタルライフスタイルとのシームレスな連携を実現するため、Connect ONE と Connect PLUS の2つのパッケージとして構成されています。

新型 Compass 向けに専用開発された「Jeep 2.0」モバイルアプリにより、ユーザーは主要な車両機能を場所を問わずシームレスに操作・管理することが可能です。

車両価格に含まれる Connect ONE パッケージは、最大 10 年間の利用が可能です。EV モデル向けに特化した機能として、充電スケジュールの設定、室内の事前空調、バッテリー性能を維持するための最適化サービスなどを提供します。また、スマートフォンが車の鍵として機能する「デジタルキー」も搭載しており、物理キーがなくても車両へのアクセスが可能です。

Connect PLUS パッケージは 12 か月間の無料トライアル付きで提供され、コネクテッド機能をさらに拡張します。コネクテッドナビゲーションは、走行ルートとバッテリー残量をもとに、最適な充電ステーションをリアルタイムで提案します。さらに、充電レベルの確認、充電ステーションの検索、ドアの遠隔操作といったリモート機能にも対応しています。加えて、インフォテインメントシステムには ChatGPT を統合し、音声による車両操作や情報取得がより高度かつスムーズになりました。

これらの機能により、新型 Compass は、車両の管理、エネルギー効率、操作性を総合的に向上させる最新のコネクテッドプラットフォームを提供します。

新型 Jeep Compass に搭載される各種テクノロジーは、機能性とデザイン性の両面から最適化され、効率的かつ視認性の高いユーザーインターフェースの構築を重視しています。

ラジオスクリーンのホーム画面は、メディア、ナビゲーション、通話、空調などの主要機能を統合した単一インターフェース、必要な操作を最小限のステップで実行できます。

ダッシュボードには、10.25 インチのデジタルメータークラスターと 16 インチのインフォテインメントスクリーンを採用。さらにヘッドアップディスプレイを組み合わせることで、速度情報や ADAS 作動状況などを大きな視線移動なく確認可能で、走行中でも視線移動を最小限に抑えつつ必要な情報を取得できます。ステアリングホイールのコントロール類も再設計されており、ACC 設定、速度制限、車間距離調整、クラスター画面切り替え、L2 機能のオン/オフ、ADAS の再起動と停止、メディア操作などを悪路走行時でも自然な操作で実行できるよう配慮されています。

これらの高度なインターフェースと制御技術により、新型 Compass は、街中の日常的な移動から長距離ドライブまで、あらゆるシーンにおいて高い快適性と安心感を提供する、新世代のモビリティプラットフォームとして進化しました。

さらに、BEV モデルには「ワンペダルドライブ」機能を新たに採用しました。この機能により、アクセルペダルのみで加速と減速を制御でき、特に渋滞時の運転負荷を軽減します。直感的な操作性を備えたこのシ

ステムは、オートマチックトランスミッションがもたらした利便性をさらに発展させ、日常のドライビングに新たな快適さと操作の精度、そして高い安心感を提供します。

また、新型 Compass の主な革新の一つとして、安全性と運転支援機能の領域において大きな進化を遂げ、レベル 2 自動運転機能を標準装備としたことが挙げられます。安全パッケージ the safety package は、先進技術として「予測型アダプティブクルーズコントロール (P-ACC)」および「セミオートマチックレーンチェンジ」が含まれています。P-ACC は、従来 ACC のストップ&ゴー機能を継承しつつ、道路形状、制限速度、カーブやラウンドアバウトの情報をもとに車速を自動調整します。これにより、コーナー手前での自動減速や直線でのスムーズな再加速を実現し、より安定した走行をサポートします。

セミオートマチックレーンチェンジは、時速 70~180km の範囲で作動し、車線変更時に車両を適切な軌道へ誘導する穏やかなステアリング制御を行うことで、安全性と快適性の向上に寄与します。

加えて、新型 Compass は、セグメント内でも屈指の先進電動化されたラインアップを展開します。ラインアップには、1.2 e-Hybrid FWD（最高出力 145 馬力、航続距離最大 970km）モデルと、フル電動 FWD（最高出力 213 馬力、航続距離最大 500km）モデルを設定し、ドライバーのニーズに応じて性能、効率性、走行特性の最適な組み合わせを選択できる幅広い選択肢を提供します。

これらの進化により、新型 Jeep® Compass は快適性、走行性能、電動化技術のすべてにおいて新たな基準を提示し、Jeep ブランドが持つ本物の冒険性と先進エンジニアリングが共存し得ることを示しています。

Turin, November 24th, 2025

※ 当リリースは、イタリア トリノにて 2025 年 11 月 24 日に発行されたプレスリリースの抄訳です。

Jeep Brand

Jeep は、約 85 年にわたり SUV カテゴリーのグローバルリーダーとして、卓越したオフロード性能、先進技術、多用途性を備えた製品を提供し、冒険と愉しさを求める顧客ニーズに応えてきました。革新への揺るぎないコミットメントのもと、Jeep ブランドは、内燃エンジン、ハイブリッド技術、そして完全電動パワートレインを網羅した幅広いラインアップを展開し、あらゆる市場・用途に対応する選択肢を提供しています。

自由、冒険、真実性、情熱というブランドの核心価値を継承しつつ、Jeep は今後も、あらゆる地形・環境において確実な走破性を発揮しながら、洗練されたデザインと高い技術基準を兼ね備えたモデルを通じて、新たな SUV のスタンダードを提示し続けていきます。